

# まなびはく 2019

## 講座

# 美術を取り巻く環境が 大きく変わってしまった事について

## 天野太郎

札幌国際芸術祭 2020 統括ディレクター  
横浜市民ギャラリーあざみ野 主席学芸員

### 6/15 (土) 14:00-15:30

聴講  
無料



会場：当館講義室 定員：80名

\*申込不要、直接会場へお越しください

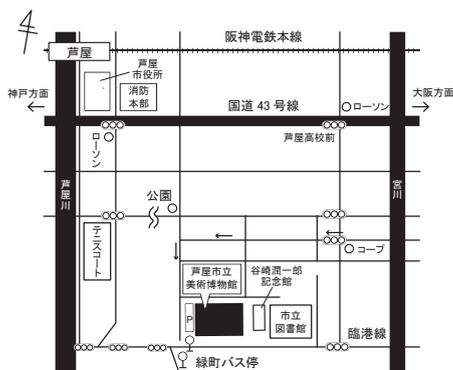
2000年以降の本格的なデジタル社会や市場優先の社会を迎え、美術を取り巻く環境がどう変化し、またそれにどのような対応をすべきなのか、幾つかの例をあげながらお話しします。

天野太郎 Taro Amano

大阪生まれ。同志社大学文学部美学・芸術学専攻卒業。北海道立近代美術館勤務を経て、87年の開設準備室より横浜美術館で国内外での数々の展覧会企画に携わる。主な展覧会、「ニューヨーク・ニューアート チェース マンハッタン銀行コレクション展」(1989年)、「戦後日本の前衛美術」展(1994年、横浜美術館)、「森村泰昌展 美に至る病—女優になった私」(1996年、横浜美術館)、「ルイズ・ブルジョワ」展(1997年、横浜美術館)、「奈良美智 I DON'T MIND, IF YOU FORGET ME.」展(2001年、横浜美術館)、「ノンセクト・ラディカル 現代の写真 III」(2004年、横浜美術館)、「横浜トリエンナーレ」(2005)キュレーター、「アイドル!」(2006年)、「金氏徹平:溶け出す都市、空白の森」展(2009年、横浜美術館)、「横浜トリエンナーレ」キュレトリアル・ヘッド(2011年、2014年、横浜美術館)

次回は…

7月15日 [月・祝] 「星の読書」 \*astronavigation 藤本由紀夫 / 大西正一 / 鈴木大義 / 中山博喜 / 守屋友樹



## 芦屋市立美術博物館

Ashiya City Museum of Art & History

〒659-0052 兵庫県芦屋市伊勢町 12-25

ashiya-museum.jp

アクセス

徒歩 / 阪神電車芦屋駅から南東へ徒歩 15分

バス / 「新浜町」または「芦屋市総合公園」行き (31,32,35,36,131 系統) 乗車、  
「緑町 (美術博物館前)」下車、徒歩 2分

[バスのりば]

阪神電車芦屋駅南側 2番、JR 神戸線芦屋駅北側 5番、阪急電鉄芦屋川駅南側 5番

※併設駐車場 / 1時間無料